

研究ノート

高等学校運動部活動における顧問教師のかかわり方に関する研究 —生徒の活動意欲に着目して—

岡崎 祐介*1

キーワード：高等学校、運動部活動、顧問教師、活動意欲

1. はじめに

運動部活動は、平成10・11年学習指導要領まで、教育課程の中にはっきりと位置付けられることがなく、教育課程外であるために、行政的な解説や制度的基準が十分に示されることや、教育的意義が詳しく規定されることがないまま、実質的には学校側が計画し顧問教師を配置し責任下におきながら、学校教育の一環として存在し、活発に行われ続けてきたと言える。しかし、平成20年3月に公示された、中学校学習指導要領における運動部活動の規定内容では、「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること」として明確に位置づけられている。これは、部活動が教育活動として、これまで以上に充実を図っていくことが期待されていることの表れとみてとれる。

運動部活動は、生徒の人間形成や生涯スポーツへのきっかけになるなど大きな教育的意義をもっているが、生徒の主体性の損なわれた指導方法など生徒の心身の負担を考慮しない活動が、学校生活に悪影響を与えてしまうこともあり、その不適切な指導等について、コーチングの在り方が問われている。白鳥(2006)は、指導にあたる側のコーチが、運動部活動において、「生徒がどのような目的を持ち、どのような思いで活動しているか」、「コーチの指導をどう感じているか」などについて、意識が低いことを指摘している。

コーチの役割とは、プレーヤーの目的を尊重し、その目的達成のために最大限の努力を行うことであ

ると考えられる。運動部活動のコーチングにおいては、生徒が主体的に目的を達成し、それによって豊かな人間性や逞しい心身が育まれ、さらには生涯スポーツの基盤が形成されるような、教育的意義を充たす顧問教師の役割が重要であると考えられる。

2. 先行研究の検討及び目的

西島(2006)による「部活動 その現状とこれからのあり方」において、中学校・高等学校の運動部活動の現状が報告されている。「部活動にどのくらい力を入れているか」という部活動へのコミットメントを問う質問では、中学生では、「かなり力を入れている」が39.8%、「まあ力を入れている」が40.3%と回答し、8割近い生徒が運動部活動に力を入れていることがわかる。しかし、7割近くがほぼ毎回活動に参加しているのに対し、コミットメントがかなり高いのは4割弱と、運動部活動への参加の仕方には行動と意識の間にズレが見られる。また、永田(1998)の調査では、スポーツ集団におけるメンバーの活動意欲について、リーダーの目標に対する「管理」「設定」「コントロール」「評価」の4要因が重要であると述べられており、メンバーの活動意欲に対して最も強い影響力を持つのは、円滑なコミュニケーションであり、リーダーの支持的・支援的な態度がこれに次々と報告されている。

そこで本研究では、運動部活動への活動意欲とそれに関連すると思われる諸要因との関係から、生徒の活動意欲を高めるための顧問教師のかかわり方に

*1 至誠館大学 ライフデザイン学部

ついて検討することを目的とする。

3. 調査対象及び研究の方法

調査は、S大学の男子学生7名を対象とし、調査票を用いて実施した。高等学校在学時には7名全員が運動部活動に所属していた。

4. 調査内容

調査項目の作成にあたっては、対象者が高等学校時代の部活動を想起し、回答しやすいことに配慮しながら西田（1985）の研究を参考に質問紙を作成した。質問項目は、大きく「運動部活動の活動意欲」「顧問教師のリーダーシップ」「運動部活動の性格」「運動部の報酬の制度」「運動部の雰囲気」「顧問への親近感」に分け、全47項目から構成した。調査票の詳細は巻末資料のとおりである。

まず、調査対象者の基本的属性を問う項目を表1にまとめた。

表1 調査対象者の基本的属性

調査対象者の基本的属性	学年、性別、部活の種類、部活動の入部理由、競技成績
-------------	---------------------------

次に、「運動部活動の活動意欲」は3要因、「顧問教師のリーダーシップ」は4要因、「運動部活動の性格」は3要因、「運動部の報酬の制度」は3要因、「運動部の雰囲気」は5要因、「顧問への親近感」は9要因で構成した。各項目とそれらを構成する要因は表2にまとめた。

それぞれの要因を求める質問項目を作成し、各質問に対して4つの回答肢から当てはまる回答を選択してもらった。さらに、回答のうち、「4」と回答したものに4点、「1」と回答したものに1点を与え、その中間を3点、2点として得点化した。

表2 質問項目と構成要因

項目	要因
運動部活動の活動意欲	1. 部活に対する意欲の程度 2. 活動中の時間経過の程度 3. 困難時の意欲の程度
顧問教師のリーダーシップ	1. 成果の評価への意識 2. 称賛への意識 3. 自律性発揮への意識 4. 顧問との同一化
運動部活動の性格	1. 達成感 2. 能力発揮の実感 3. 能力成長への期待
運動部の報酬の制度	1. 将来への効果 2. 進学就職への効果 3. 外的報酬への期待
運動部の雰囲気	1. チームとの同一化 2. 規則や規定の制約 3. 達成欲求の追及 4. 対立許容の風土 5. 好成績評価の風土
顧問への親近感	1. 顧問への話しやすさ 2. 部活動の悩み 3. 学校生活の悩み 4. 友人関係の悩み 5. 学習面の指導 6. 注意に対する素直さ 7. 顧問への信頼感 8. 顧問への親しみ 9. 顧問との連絡

「運動部活動の活動意欲」については、構成する3要因の合計得点を算出し、回答者数（7名）で割った平均値を求め、それを活動意欲を分類する基準値とした。「顧問教師のリーダーシップ」、「運動部活動の性格」、「運動部の報酬の制度」、「運動部の雰囲気」、「顧問への親近感」の5項目については、それぞれ

を構成する要因の合計得点を算出し、それらをもとに3つのグループに分類した。各項目の分類名と基準値は表3にまとめた。

5. 分析の視点

高等学校運動部活動の現状について、参加していた部活動や競技成績などからその現状を把握する。また、運動部活動に対する活動意欲はどの程度あるのかを明らかにし、活動意欲に関係性があると思われる各項目と各要因について比較する。そのような現状をもとに、以下のような視点で分析を進める。

- (1) 運動部活動の活動意欲について、調査結果から生徒を「高意欲群」と「低意欲群」の2つに分類し、運動部活動に意欲的に取り組んでいる者と、そうでない者との基本的属性を比較し、その影響を分析していく。
- (2) 運動部活動の活動意欲と影響があると思われる各項目や各要因を比較し、高等学校運動部に所属する生徒の活動意欲にどのように影響しているのかを明らかにしていく。
- (3) 部活動以外の学校生活や授業の場面などから、運動部活動における顧問教師への親近感と活動意欲との関係を明らかにし、生徒の活動意欲を高める顧問教師の関わり方を明らかにしていく。

6. 結果

6-1 生徒の活動意欲の概要

運動部活動に対する活動意欲については、西田(1985)の活動意欲測定指標を利用し、競技的スポーツ集団での先行研究等で妥当性が得られている、「活動に対する意欲の程度」、「活動中の時間経過の程度」、「困難時の意欲の程度」の3要因について回答を得た。

今回の回答者では、高意欲群に7名中5名(71.4%)、低意欲群には2名(28.6%)が分類され、今回の回答者の場合、比較的高い意欲を持って高等学校の運

表3 項目別分類基準値

運動部活動の活動意欲	高意欲群	平均値	低意欲群
活動意欲の基準値	9.57以上	9.57	9.57未満
顧問教師のリーダーシップ	顧問にリーダーシップあり	どちらともいえない	顧問にリーダーシップなし
得点	16～12点	11～8点	7～4点
運動部活動の性格	部活性格あり	どちらともいえない	部活性格なし
得点	12～10点	9～7点	6～3点
運動部の報酬の制度	報酬制度関係あり	どちらともいえない	報酬制度関係なし
得点	12～10点	9～7点	6～3点
運動部の雰囲気	部活動での雰囲気が良い	どちらともいえない	部活動での雰囲気に不満
得点	20～16点	15～11点	10～5点
顧問の親近感	顧問関係が良い	どちらともいえない	顧問関係に不満
得点	36～28点	27～19点	18～9点

動部活動に取り組んでいたといえる。

高意欲群の生徒が多くを占めた背景として、運動部に加入している生徒は何らかの期待を持って運動部活動に参加していることが関係していると考えられる。西島(2006)は、運動部活動の調査において、もっとも期待している運動部活動の効用として「仲のよい友だちができる」「好きなことがうまくなる」「健康なからだをつくれる」の3項目を上位に挙げ

ている。このように、運動部に加入している生徒は自分の意思で活動を行っていることから、比較的意欲を持って運動部活動に参加していると考えられる。

6-2 顧問教師のリーダーシップと生徒の活動意欲

運動部活動に対する顧問教師のリーダーシップについては、「部活動の成果の評価への意識」、「称賛への意識」、「自律性発揮への意識」「顧問との同一化」の4要因について回答を得た。

「顧問にリーダーシップあり」の生徒は高意欲群が80.0%、低意欲群が20.0%、「どちらともいえない」は高意欲群が50.0%、低意欲群が50.0%、「顧問にリーダーシップなし」と回答した学生はいなかった。

これらの結果から、顧問にリーダーシップを感じている生徒ほど高い意欲を持って活動を行うように思われる。永谷ら（1999）の調査によると、活動意欲に対してリーダーシップの影響力は最も強い要因とはならないが、成熟度が低い場合は、リーダーに依存する傾向から、強い影響関係が見られるとしている。このように、顧問にリーダーシップがあることが生徒の高い活動意欲を維持する一つの要因として考えられる。

6-3 運動部活動の性格と生徒の活動意欲

運動部活動の性格については、「達成感」、「能力発揮の実感」、「能力成長への期待」の3要因について回答を得た。

「部活性格あり」の生徒は高意欲群が100.0%、低意欲群が0%、「部活性格なし」の生徒は高意欲群が50.0%、低意欲群が50.0%という結果となった。

この結果から、部活性格ありの生徒ほど、高い活動意欲を示していることがいえる。これは、部活動で得られると考えられる達成感や能力の成長に生徒が期待を示しているためだと思われる。

6-4 運動部活動における報酬の制度と生徒の活動意欲

運動部活動における報酬の制度については、「将来への効果」、「進学就職への効果」、「外的報酬への期待」の3要因について回答を得た。

「報酬制度関係あり」の生徒は高意欲群が50.0%、低意欲群が50.0%、「報酬制度関係なし」の生徒は高意欲群が80.0%、低意欲群が20.0%、

この結果から、自分の進学や就職に関係がないとしながらも、高い意欲で運動部活動に取り組む生徒が多いことから、これらの生徒は、現在取り組んでいる運動部活動の成果自体に価値観を見出しているのではないかと考えられる。

6-5 運動部の雰囲気と生徒の活動意欲の関係

運動部の雰囲気については、「チームとの同一化」、「規則や規定の制約」、「達成欲求の追及」「対立許容の風土」「好成績評価の風土」の5要因について回答を得た。

「部活動での雰囲気が良い」の生徒は高意欲群が80.0%、低意欲群が20.0%、「部活動での雰囲気に不満」の生徒は高意欲群が0%、低意欲群が100.0%という結果となった。

この結果から、部活動の雰囲気が良いと感じている生徒ほど高意欲群の割合が高いようである。

6-6 運動部の顧問への親近感と生徒の活動意欲

運動部の顧問への親近感については、「顧問への話しやすさ」、「部活動の悩み」、「学校生活の悩み」「友人関係の悩み」「学習面への指導」「注意に対する素直さ」「顧問への信頼感」「顧問への親しみ」「顧問との連絡」の9要因について回答を得た。

「顧問関係が良い」と回答した学生はいなかった。「どちらともいえない」の生徒は高意欲群が60.0%、低意欲群が40.0%、「顧問関係が不満」の生徒は高意

欲群が 50.0%、低意欲群が 50.0%という結果となった。

西島 (2006) の調査によると、顧問と気楽に話せるとしている生徒は、部活動が得意な生徒がもっとも多く、次いで活動内容重視の生徒、不得意な生徒、友人関係重視の生徒となっている。このように、顧問とコミュニケーションを積極的にとる生徒ほど、顧問に対して親近感を抱きやすくなるのではないかと思われる。

7. まとめ

(1) 運動部活動への活動意欲は高い競技成績を残すことでより高まると考えられるが、成績重視による顧問教師の圧力的な指導ではなく、生徒の自主的な活動によりさらに高い活動意欲が生まれると思われる。そのため、顧問教師は円滑なコミュニケーションと支持的・支援的な立場から、助言や助力を行っていくことが重要であると考えられる。

(2) 運動部活動における活動意欲と顧問のリーダーシップについて、高い意欲で運動部活動に取り組む生徒ほど顧問のリーダーシップの存在を感じているという結果が得られた。しかし、低い意欲の生徒にも多少そういった傾向が見られたことから、活動意欲に対して生徒の成熟度が低い場合は、顧問に依存する傾向があると考えられるため、活動意欲とリーダーシップには強い影響関係がみられることが推察される。

(3) 高等学校運動部活動に所属する生徒は、活動意欲の高い生徒ほど、自分の能力がどの程度発揮できるのか、今後どのように成長していくのかに期待していることがわかった。運動部活動への活動意欲を高めるためには、生徒自身の成長を促し実感させるような取り組みが、競技会 (試合) 以外の日常の運動部活動の中でも行われていくことが重要であると思われる。

(4) 高い意欲で運動部活動に取り組む生徒ほど、所

属する部活動の雰囲気が良いと感じていることがわかった。特に、高い成績をあげれば、チームメイトから認めてもらえると感じる生徒がいたことから、チームメイトとより良い人間関係を構築することが活動意欲に大きく影響すると思われる。

(5) 高校生の顧問への親近感は予想以上に低いものであった。現在の高等学校運動部活動では、顧問との関係が活動意欲に直接影響しているかは明らかでない。さらに、意欲的に部活動に取り組むが、顧問を身近に感じていない生徒がいることもわかった。これは、いずれ競技成績の不振や運動部活動に対する不信感を生む要因になるのではないかと思われる。

以上のように、顧問教師の関わり方や顧問教師の作り出す運動部活動の雰囲気は生徒の活動意欲に大きな影響を与えており、教師側からの一方的な指導や生徒に任せきりな運動部活動の運営では、部活動本来の目的や効用である体力・技術の向上や人間形成の支援、生涯を通して運動を行う習慣などを習得しにくくなる可以考虑ができる。さらに、現在の運動部活動では勝利至上主義が過度になっており、好成績をおさめるために顧問の高圧的な指導により生徒の自主的な活動が抑えられる傾向もある。

その結果、顧問をはじめ所属している運動部や、行っているスポーツ自体にマイナスなイメージを持つことにつながるのではないだろうか。このような状況を作らないためにも、顧問の考えている運動部活動の構想や活動内容、生徒に対する考えなどを明確にし、可能な限り伝えてく努力が必要になると思われる。また、親近感と運動部活動の活動意欲には直接的な関係はないと思われるが、学校生活などの部活動以外の場面でも生徒に親身になって接していくことで生徒が顧問教師に対して何らかのポジティブなイメージを抱くようになるのではないかと考えられる。

8. 今後の課題

今回は、高等学校時代の運動部活動についてS大学の学生7名から調査を実施した。学生には当時の運動部活動の記憶を頼りに記入してもらったことから部活動に対する認識が曖昧になってしまったところもあったと思われる。また、本研究では、生徒の視点から得た情報をもとに顧問教師の指導や運動部活動の実態を調査しているため、実際の顧問の指導がどのような状況にあるかについては把握できていない。この2点については今後より正確な調査ができるよう検討していきたい。

【引用・参考文献】

- 1) 永田靖章；スポーツ集団のマネジメント，ぎょうせい，1998
- 2) 西島央；部活動－その現状とこれからのあり方，学事出版，2006
- 3) 吉田浩之；部活動と生徒指導　スポーツ活動における教育・指導・援助のあり方，学事出版，2009
- 4) 石田靖彦；中学校の部活動が学習意欲に及ぼす影響，愛知教育大学教育実践総合センター紀要，9：219-225，2005
- 5) 西田耕三；なにが仕事をきめるか，白桃書房，1985
- 6) 諏訪賢志；中学校運動部活動に関する満足度を高める要因の研究，広島大学学校教育学部　卒業論文，1996
- 7) 伊藤豊彦；スポーツへの動機づけ，日本スポーツ心理学会(編)，最新スポーツ心理学－その軌跡と展望，大修館書店，33-44，2004
- 8) 永谷稔；競技的スポーツ集団の成熟度に関する研究－活動意欲と組織要因の影響関係から－，日本体育学会，282，1971
- 9) 永谷稔；競技的スポーツ集団における活動意欲を規定する目標による管理に関する研究，日本体育学会，398，1971
- 10) 築瀬歩；競技的スポーツ集団における意思決定

への影響力とメンバーの活動意欲に関する研究，日本体育学会，386，1971

11) 澤口裕太；運動部活動における活動意識に関する研究－中学校運動部活動参加者を対象として－，仙台大学大学院スポーツ科学研究科研究論文集，2003

12) 山本雄介、城後豊；高等学校における運動部活動のコーチングに関する一考察，生徒の目的達成とコーチの関わり方に着目して，北海道教育大学紀要、教育科学編，60（1）：215-226，2009

13) 長谷川悦示、土屋裕睦、日野克博；体育専攻学生の競技意欲を規定する要因の探求，スポーツ教育学研究，16（2）：105-112，1996

14) 白鳥直人、勝田隆；公立高校運動部の教師の指導性と生徒の指向性に関する研究－宮城県内ラグビー部の活動から－，仙台大学大学院スポーツ科学研究科修士論文集，7：67-74，2006

3. 部活動で困難や問題点があった場合、あなたはそれらを克服しようとしたか。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 4. いつも進んで克服しようとした | 3. ときどき克服しようとした |
| 2. あまり克服しようとは思わなかった | 1. 克服しようとしなかった |

Ⅲ、高校時代の顧問の先生の指導について聞きます。

4. あなたの顧問の先生は、部活動の成績に関心を持っていたと思いますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 4. いつも強く関心を持っていた | 3. ときどき関心を持っていた |
| 2. あまり関心はなかった | 1. ぜんぜん関心はなかった |

5. あなたの顧問の先生は、レギュラーやチームの代表を決める時、部員の成績や能力を中心に選手を選んでいましたか。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 4. 成績や能力を中心に選んでいた | 3. ときどき成績や能力を中心に選んでいた |
| 2. あまり成績や能力では選んでいなかった | 1. 成績や能力では選んでいなかった |

6. あなたは、顧問の先生が自分に好感をもっているかどうか、自分の部活動の成績や能力をどう評価しているかが気になりましたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても気になった | 3. ときどき気になった |
| 2. あまり気にならなかった | 1. ぜんぜん気にならなかった |

7. あなたにとって、顧問の先生から部活動の成績や能力を高く評価されたり、ほめられたりすることは、重要なことでしたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても重要だった | 3. ときどき重要だった |
| 2. あまり重要ではなかった | 1. ぜんぜん重要ではなかった |

8. あなたの顧問の先生は、部活動の成績に対する反応として、次のどちらのタイプに近かったと思いますか。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 成功には何も言わず、失敗には怒る | 2. 成功はほめるが、失敗には何も言わない |
|---------------------|-----------------------|

9. あなたの顧問の先生は、部活動中に、あなた自身の考えを尊重してくれましたか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 4. よく尊重してくれた | 3. ときどき尊重してくれた |
| 2. あまり尊重してくれなかった | 1. ぜんぜん尊重してくれなかった |

10. あなたは、部活動でいくら努力しても、よい成果が得られないと思うことがありましたか。

- | | |
|------------|-------------|
| 4. よくあった | 3. ときどきあった |
| 2. あまりなかった | 1. ぜんぜんなかった |

1 1. あなたは、顧問の先生に好感をもっていましたか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 4. とても好感を持っていた | 3. ときどき好感を持っていた |
| 2. あまり好感を持っていなかった | 1. ぜんぜん好感を持っていなかった |

1 2. あなたの顧問の先生は、尊敬できる人でしたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても尊敬できた | 3. ときどき尊敬できた |
| 2. あまり尊敬できなかった | 1. ぜんぜん尊敬できなかった |

IV、高校時代にあなたが部活動で得られると考えていたものについて聞きます。

1 3. あなたの部活動は、自分がどの程度成長したか実感できるものでしたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. よく実感できた | 3. ときどき実感できた |
| 2. あまり実感できなかった | 1. ぜんぜん実感できなかった |

1 4. あなたは、これまでの人生で、達成感や満足感を味わったことがありましたか。

- | | |
|------------|-------------|
| 4. よくあった | 3. ときどきあった |
| 2. あまりなかった | 1. ぜんぜんなかった |

1 5. あなたは部活動において、自分の能力を十分発揮できたと思いますか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. 十分発揮できた | 3. ときどき発揮できた |
| 2. あまり発揮できなかった | 1. ぜんぜん発揮できなかった |

1 6. あなたは部活動において、あなたが努力すれば能力が成長していくと信じていましたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても信じていた | 3. ときどき信じていた |
| 2. あまり信じていなかった | 1. ぜんぜん信じていなかった |

1 7. あなたは、努力して部活動の成績をあげることが、自分の将来（進学や社会に出たとき）に役に立つと信じていましたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても信じていた | 3. ときどき信じていた |
| 2. あまり信じていなかった | 1. ぜんぜん信じていなかった |

1 8. あなたは、努力して成績をあげることが、進学や就職に有利だと思っていましたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても信じていた | 3. ときどき信じていた |
| 2. あまり信じていなかった | 1. ぜんぜん信じていなかった |

19. あなたは、部活動にどのくらい熱心に打ち込むかが、自分の将来（進学や社会に出たとき）に役に立つと思っていましたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても思っていた | 3. ときどき思っていた |
| 2. あまり思っていなかった | 1. ぜんぜん思っていなかった |

V、高校時代のあなたの部活動の雰囲気について聞きます。

20. あなたのチームメイトは、部活動で活動できることに誇りを持っていましたか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 4. とても誇りを持っていた | 3. ときどき誇りを持っていた |
| 2. あまり誇りを持っていなかった | 1. ぜんぜん誇りを持っていなかった |

21. あなたのチームメイトは、同じ部活動のメンバーであることに満足していたと思いますか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 4. とても満足していた | 3. ときどき満足していた |
| 2. あまり満足していなかった | 1. ぜんぜん満足していなかった |

22. あなたの部活動では、チーム全体で高い目標を決め、それを達成するために努力していかうとする雰囲気がありましたか。

- | | |
|------------|-------------|
| 4. よくあった | 3. ときどきあった |
| 2. あまりなかった | 1. ぜんぜんなかった |

23. あなたの部活動では、ルールを守ったり、個人の責任で行動したりすることが重視されていましたか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 4. よく重視されていた | 3. ときどき重視されていた |
| 2. あまり重視されていなかった | 1. ぜんぜん重視されていなかった |

24. あなたの顧問は、部活動でのルールなどを大切にしていましたか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 4. とても大切にしていた | 3. ときどき大切にしていた |
| 2. あまり大切にしていなかった | 1. ぜんぜん大切にしていなかった |

25. あなたの部活動では、「何となく活動すればよい」という雰囲気がありましたか。

- | | |
|------------|-------------|
| 4. よくあった | 3. ときどきあった |
| 2. あまりなかった | 1. ぜんぜんなかった |

26. あなたの部活動では、「何もしないよりは、たとえ失敗しても積極的に行動するほうが良い」という雰囲気がありましたか。

- | | |
|------------|-------------|
| 4. よくあった | 3. ときどきあった |
| 2. あまりなかった | 1. ぜんぜんなかった |

27. あなたの部活動では、練習内容やルールなどについて、顧問の先生やチームメイトに意見を自由に述べることができる雰囲気がありましたか。

4. よくあった 3. ときどきあった 2. あまりなかった 1. ぜんぜんなかった

28. あなたの部活動では、お互いに信頼し合い、困った時には助け合うという雰囲気がありましたか。

4. よくあった 3. ときどきあった
2. あまりなかった 1. ぜんぜんなかった

29. あなたの部活動では、友好的な暖かい雰囲気がありましたか。

4. よくあった 3. ときどきあった
2. あまりなかった 1. ぜんぜんなかった

30. あなたの部活動では、高い成績をあげれば、チームメイトからきちんと認めてもらえるような雰囲気がありましたか。

4. よくあった 3. ときどきあった
2. あまりなかった 1. ぜんぜんなかった

31. あなたは、熱心に部活動をしているとチームメイトから冷たい目で見られることはありませんでしたか。

4. よく見られていた 3. ときどき見られていた
2. あまり見られなかった 1. ぜんぜん見られなかった

VI、高校時代のあなたと顧問の先生との関係について聞きます。

32. あなたの顧問の先生には、部活動以外の学校生活で話しやすい雰囲気がありましたか。

4. とても話しやすかった 3. ときどき話しやすかった
2. あまり話しやすくなかった 1. ぜんぜん話しやすくなかった

33. あなたは、部活動の悩みを顧問の先生に相談できましたか。

4. よく相談できた 3. ときどき相談できた
2. あまり相談できなかった 1. ぜんぜん相談できなかった

34. あなたは、学校生活の悩みを顧問の先生に相談できましたか。

4. よく相談できた 3. ときどき相談できた
2. あまり相談できなかった 1. ぜんぜん相談できなかった

次のページが最後です。

35. あなたは、友人関係の悩みを顧問の先生に相談できましたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. よく相談できた | 3. ときどき相談できた |
| 2. あまり相談できなかった | 1. ぜんぜん相談できなかった |

36. あなたの顧問の先生は、学習面に対しても熱心に指導をしていましたか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4. とても熱心だった | 3. ときどき熱心だった |
| 2. あまり熱心ではなかった | 1. ぜんぜん熱心ではなかった |

37. あなたは、顧問の先生に注意をされたとき、素直に受け入れることができましたか。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 4. よく受け入れることができた | 3. ときどき受け入れることができた |
| 2. あまり受け入れることはできなかった | 1. ぜんぜん受け入れることができなかった |

38. あなたの顧問の先生は、あなたが困っているときに相談でき、頼りになる先生でしたか。

- | | |
|--------------|------------------|
| 4. とても頼りになった | 3. ときどき頼りになった |
| 2. 頼りにならなかった | 1. まったく頼りにならなかった |

39. あなたは、顧問の先生に親しみ感じていましたか。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 4. とても親しみを感じていた | 3. 親しみを感じていた |
| 2. 親しみは感じなかった | 1. まったく親しみは感じなかった |

40. あなたは顧問の先生と、卒業後も近況報告など何らかの連絡を取り合っていますか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 4. とてもよく取り合っている | 3. ときどき取り合っている |
| 2. 取り合わない | 1. まったく取り合わない |

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。